

発行責任 自治会連合会役員会

連絡先 六会市民センター ☎ 8 1 - 6 6 7 7

東日本大震災支援活動報告

2011年3月11日の東日本大震災は、私たちに大きな衝撃を与えました。

多くの皆様にご理解・ご協力をいただき、県全体の取り組む支援物資を集め、お送りする事をはじめ、六会地区独自の相手の顔の見える関係で本当に必要なものを必要な数だけ、そしてできる限り地元の経済が動く様にと考慮して、普及・復興のお手伝いをさせていただきました。

4月28日の自治会連合会総会でご報告をさせていただきましたが、改めて地域の皆様にお礼とご報告をさせていただきます。

震災直後には、宮城県社会福祉協議会のご紹介もあり、震源地に近く、支援の手の入っていない亘理郡山元町を中心に、職員の身分を明かすためのビブスや土のう袋・子ども達の自転車、避難所でのテレビなどをお送りしました。

日が経つにつれ変わるニーズにも対応し、仮設住宅建設後はカレンダー・自治会テント・いす・机など、県をはじめ他の補助金などでは購入できない物を、相手とよく相談し、支援を続けてまいりました。

秋の「ふるさとまつり」には山元町社会福祉協議会事務局長の齋藤さんに六会地区を訪問いただき、お礼と現状報告をしていただきました。（現在、まちの再生へ向け山側へ移転計画を進めていられます。）

また、8月からは学園都市むつあいの企画による「震災から学ぶ」を機会に六会に来てくれた気仙沼の若者のNPOグループを通し報告された内容から、仮設にお住まいの方々のコミュニティーの再生へ向け、自治会のテント・いす・机などを気仙沼市にご寄付させていただきました。

これを機に六会中学校に2月10日「1年を迎える現状について」講演を実施。その時に六会中学校の生徒さんから託された手紙を気仙沼の中学へ届けていただきました。今、気仙沼の中学から返事が返ってきています。（中学校に展示中）

この様に皆様にご理解・ご協力をいただきました支援金は「将来に・希望につながる」事を目的に大事に使わせていただきました。本当にありがとうございます。

支援金報告

支援金総額

募金及び気仙沼物産売上 3,073,185 円

支出金額

自 転 車	388,200
ビ ブ ス	299,985
カレンダー	107,265
テント・マイク他	887,900
テレビ・プリンター	150,000
土のう袋	95,365
山元町職員招聘	30,060
気仙沼物産	307,000
イス・机	778,591 (気仙沼市へ)
宮城県現地調査	28,819
合計	3,073,185 円



思うように進まぬ復興状況（宮城県亙理郡山元町）